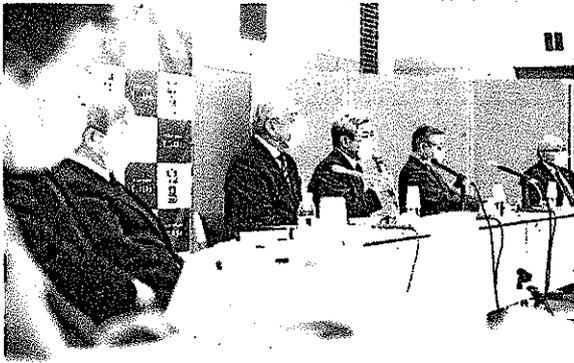


12/22
五社

日医などの団体緊急事態宣言 医療崩壊防ぐ感染対策要求



記者会見する日本医師会の中川俊男会長（右から3人目）、東京都医師会の尾崎治夫会長（同4人目）ら医療団体の幹部ら=21日午後、東京都文京区

日本医師会（日医）、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本産科助産師会、日本看護協会、日本病院内での医療関係9団体は21日、新型コロナウイルス感染症拡大で疲弊する医療現場への支援などを政府に要請する「医療緊急事態宣言」を発表しました。

宣言は、新規感染者数の増加に歯止めがかからない現状のままに、コロナ患者だけでなく通常の医療も受けられなくなり必要な医療提供が立ち行かなくなる恐れがある。医療崩壊を防ぐために最も重要なのは新たな感染者を増やさないことなどとして、国や自治体に

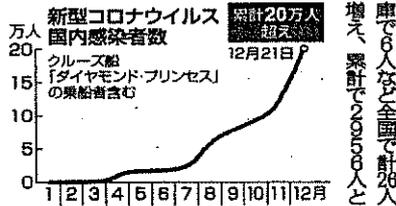
民への啓発や医療支援など「適切な施策」を求め、国民に引き続き徹底した感染防止対策を呼びかけました。

国内では21日、東京都で392人など、新たに1386人の新型コロナウイルス感染者が確認され、累計感染者数はクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の乗船者を含め20万人を超えました。「第3波」と呼ばれる感染拡大で、首都圏など大都市部に加え、地方都市でも増加ペースが加速しています。

死者は北海道で8人、兵庫

国内感染20万人超す

日医の中川俊男会長は記者会見で、政府が従来の政策を転換することにより、うちよする必要はないと、しつじになつてゐる」として「勇気をもって早め早めた対応を打ち出してほしい。万全の感染対策こそ最



なりました。厚生労働省によると、重症者は前日より10人増えて603人。国内では1月16日に初めて感染者が確認されました。7カ月後の8月10日に5万人を超え、80日後の10月20日に10万人を突破。11月に入って感染者が増え、33日後の今月1日に15万人を超えました。その後の約3週間で感染者が5万人増加しました。